

新理事会発足

白門飛躍募金に対するご支援への感謝

学校法人 中央大学
理事長 大村 雅彦

このたび、学校法人中央大学の理事長に三たび選出されました大村です。私は本学法学部法律学科に学んだ後、大学院を経て母校の教育・研究に従事しました。法学部を駿河台キャンパスで卒業(1977年3月)した翌年に、当時の文系の全学部が多摩キャンパスに移転しました。あの多摩移転からすでに45年が経過しており、この年月は本学教員としての私の半生ともほぼ重なります。

英吉利法律学校の創立時から数えますと、中央大学は138年にわたる輝かしい歴史と実学の伝統を有しており、各種の難関国家試験に強く、ことに日本の法曹界では本学卒業生が大きな割合を占めてきました。これは誇るべきことです。しかし、中央大学の特色はほかにもあります。創立者増島六一郎は明治初期にイギリスに留学し国際的に法律業務を行った真のグローバル人材でありましたし、長谷川如是閑など気骨ある言論人も輩出しました。そして、グローバル企業の経営者、政界のリーダー、国家公務員・地方公務員として活躍されている方々、スポーツ界の一流選手たち、さらには芸術・文化の分野における著名人も輩出しています。このように本学がこの国を支える多様な人材を各界に多数送り出している現状は、「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神を総合大学として発揮しているものといえます。

しかし、社会はどんどん変化していきます。伝統の上に安住するのではなく、伝統の強みを基礎として、社会の進展を見据えた改革を実行していく必要があります。2016年にスタートした「中長期事業計画 Chuo Vision 2025」は、本学の伝統をきちんと維持しつつ、これからの時代に求められる本学の新たな魅力を生み出していこうとするものです。

この計画に基づいて、2019年には国際経営学部と国際情報学部を新たに開設しました。2020年には多摩キャンパスに International Residence Chuo(国際教育寮)・グローバル館が、また、2021年には FOREST GATEWAY CHUO(学部共通棟)が竣工しました。都心では、2023年春に茗荷谷キャンパスが竣工して法学部・大学院法学研究科が多摩から移転し、また、駿河台キャンパスが完成して法務研究科と戦略経営研究科が移転しました。これにより、中央大学はその新しい姿のほぼ全容を現しました。加えて、近いうちには、緑豊かなグローバル・キャンパスとしての多摩キャンパスにふさわしい新たな学部の創設も構想されています。箱根駅伝など学生スポーツの振興、附属校の将来構想などの重要な施策にも取り組んでいかなければなりません。

Chuo Vision 2025を支える「白門飛躍募金」への皆さまのご寄付は、現在、累計27億円を超えました。大学をよくしたいという皆さまの篤志に心から感謝申し上げます。

「世界に存在感のある大学」をめざす中大関係者の思いを一つにして(One Chuo)、中長期計画 Chuo Vision 2025の完遂、そして創立150周年(2035年)を見据えた次の中長期計画による大学改革に対して、皆さまのより一層熱いご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。





学長 河合 久



常任理事 中島 康予



常任理事 大貫 裕之



常任理事 石井 靖



常任理事 松本 雄一郎



常任理事 塚原 由紀夫



法学部長 猪股 孝史



経済学部長 佐藤 拓也



商学部長 井上 義朗



理工学部長 梅田 和昇



文学部長 新原 道信



総合政策学部長 青木 英孝



国際経営学部長 中迫 俊逸



国際情報学部長 平野 晋



法務研究科長 小林 明彦



理事 岡田 孝子



理事 熊坂 隆光



理事 栗原 孝至



理事 鈴木 雅芳



理事 瀬川 徹



理事 寺本 吉男



理事 牧 俊夫



理事 山本 卓



事務局長 室井 庸次郎

理事長 大村 雅彦
 学 長 河合 久
 常任理事 中島 康予
 常任理事 大貫 裕之
 常任理事 石井 靖
 常任理事 松本 雄一郎
 常任理事 塚原 由紀夫

理 事 猪股 孝史
 理 事 佐藤 拓也
 理 事 井上 義朗
 理 事 梅田 和昇
 理 事 新原 道信
 理 事 青木 英孝
 理 事 中迫 俊逸
 理 事 平野 晋
 理 事 小林 明彦

理 事 岡田 孝子
 理 事 熊坂 隆光
 理 事 栗原 孝至
 理 事 鈴木 雅芳
 理 事 瀬川 徹
 理 事 寺本 吉男
 理 事 牧 俊夫
 理 事 山本 卓
 理 事 室井 庸次郎